

## さびチェンジ\_施工要領書

### 1. 下地処理

- ・油分、ヤニ、手垢、ゴミ、カビ等の汚れは、中性洗剤やシンナーでキレイに洗浄します。
- ・皮スキ、金ヘラ、ワイヤーブラシ等で浮きサビ（層状サビ・こぶ状サビ）を取り除きます。  
(浮きサビ以外のサビは取り除く必要はありません)
- ・効率的な下地調整には、高圧水洗（35～50MPa）を推奨します。(水洗後は多少湿っていても塗装出来ます)

### 2. さびチェンジの塗装

- ・使用前に十分に攪拌してください。
- ・塗料は1液型（既調合）ですので、そのままおすすめ使用します。  
夏季乾燥が早くて塗りにくい場合は、水で少し（5%以内）うすめてください。
- ・刷毛は柔らかい山羊毛の刷毛を使用し、**たっぷり**と錆の間に塗り込んでください。  
ローラー塗装する場合は中毛以上のローラーで塗装するようにしてください。
- ・塗付面積からロスを含めた塗付量を計算し、必ずその全量を使い切るよう均一に塗装してください。
- ・下地の角部や縁は塗膜が薄くなるため、必ずタッチアップ増し塗りしてください。
- ・残ったさびチェンジは元の容器に戻さないようにしてください。(錆転換した塗料が混入するため)。  
やむを得ず作業を中断する場合は、小出しした容器の口をサランラップ等で密封するようにしてください。  
また、ハケはサランラップ等くるんでおくくと便利です。

### 3. 塗装時の膜厚管理

正規の防錆効果を発揮するために、塗装時必ず1回塗るごとに塗膜厚管理を行ってください。

#### 【N300の塗膜厚】

- ・旧塗膜等の平滑面：wet **130 μm以上**
- ・錆鉄面                  ：wet **190 μm以上**

#### 【N330の塗膜厚】

- ・旧塗膜等の平滑面：wet **135 μm以上**
- ・錆鉄面                  ：wet **180 μm以上**

### 4. 注意事項

- ・気温5℃以下、湿度85%以上の場合は塗装しないでください。
- ・通気性の悪い所や湿度が非常に高い場合は、液ダレやツヤ引けの原因になりますのでご注意ください。
- ・絶えず水がかかったり、常に湿っている所には適しません。
- ・一般防錆用途の場合は、正規の一般防錆塗装仕様に従って施工してください。
- ・さびチェンジはやや強い酸性ですので、肌についたり、目に入ったりしないよう注意してください。  
万一ついた場合はすぐに水で洗い流してください。
- ・用具の手入れは水または湯で洗ってください。きれいにならない場合はラッカーシンナーで洗浄します。

以上